

# 研究集会の運営においてインクルージョン実現のために何ができるか？

代表的な研究所で工夫されていること

Social Event ``Diversity and Inclusion in Mathematics''  
in  
the workshop ``PDEs and Probability Theory –beyond boundaries-''  
June 2, 2021

# カナダ BANFF (BIRS)

- ✓ Equity, Diversity and Inclusion Advisory Board なる委員会が設置されており、人種・性別の偏りの是正を促進するための各種提言を行うこととされている：

BIRS Equity, Diversity and Inclusion Advisory Board (EDIAB): Terms of Reference

<https://www.birs.ca/about/governance/scientific-management/Equity-Diversity-Inclusion-Board/ToR>

- ✓ 委員会の構成員の一覧：

Current Members of the Equity, Diversity and Inclusion Advisory Board

<https://www.birs.ca/about/governance/scientific-management/Equity-Diversity-Inclusion-Board/current-members-EDIB>

女性多数, 様々な人種, LGBTを含む構成員

# カナダ BANFF (BIRS)

✓託児について

## Childcare Services

<https://www.birs.ca/participants/childcare>

にある通り、免許を所有するベビーシッターを手配しBIRS研究所やホテルに来てもらうと行ったことが可能で、そのための費用の援助も行っているとのこと。

# ドイツ OBERWOLFACH

✓研究所としての方針

Equality, Diversity, Inclusion

<https://www.mfo.de/about-the-institute/guiding-principles/equality-diversity-inclusion>

内の Guidelines and recommendations for organizers に

- we recommend that proposals should be made by mixed-gender organizational teams

- In cases where the proportion of female participants falls below the value that would be expected according to the usual proportion of female mathematicians an explanation is requested.

女性を世話人・参加者中に一定程度含めることはほとんど必須要件である旨が明記されている。

# ドイツ OBERWOLFACH

✓同ページに Support for families の項目あり

子どもの世話をするための 家族向けの部屋の利用, および子どもの世話を  
する 人員を連れてくるのが可能であること, その他研究所としても必要な援助を  
する旨が記載されている.

# フランス CIRM

<https://www.cirm-math.com/thematic-month.html>

- ✓ guideline for a proposal の中, Organizing Committee/  
Scientific Committee の項目に

Reminder: at least one should come from a foreign institution and no team should include one gender only.

- ✓ 審査委員構成については

the international Scientific Committee at CIRM, which has 20 members (10 men / 10 women) half of them from foreign-based institutions.

とあり.

- ✓ Families at CIRM <https://www.cirm-math.com/families.html>

には, 対策としてベビーシッター派遣会社などの紹介がある.



# 日本の現状

## 京都大学数理解析研究所

<https://www.kurims.kyoto-u.ac.jp/kyoten/ja/index.html>

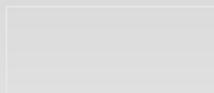
「共同研究開催期間中の保育室設置について 希望者には情報を提供可能です。詳しくは研究代表者か共同利用掛にお問い合わせください。」  
とあるが具体的な策については不明。

## 統計数理研究所

「託児」「育児」などの単語で webサイト内検索をしてみても研究所としての文言は残念ながら 全く発見できず。

## 九大IMIの共同利用

託児施設無し。 議論に上がったこともない。



少しずつ注意を向けられつつある傾向も…但し「託児」のみ（他大学からの情報をお待ちしております）

## 日本数学会年会

託児室あり.

## 奈良女子大学

大学内に託児用の部屋あり. 奈良女子大学の教員が世話人をしている（外部で行う）研究集会には、託児の場所さえ確保すればベビーシッターを派遣してくれる.

## 東京大学(数理科学研究科)

保育場所については教室等を提供できる.

## 東北大学

研究集会の際, ベビーシッターは大学と法人契約している会社に連絡を取って探してくれる, 一部の研究科では保育場所の確保も行っている.

## 託児に必要な要素は

- (1) 保育者の確保
- (2) 保育場所の確保
- (3) 責任問題をクリアにすること

## その他検討項目

- (1) 企画書などの審査に女性比率を考慮すべきか
- (2) ワークライフバランスを考慮した時間帯・懇親会のあり方
- (3) 育児・介護で参加できない人のためにオンライン併用検討
- (4) 若手が参加するセミナーに女性研究者を一定数確保する

# 障がいがある方への配慮

(ここでは特に視覚障がいの場合を紹介。他にも情報をお待ちしております。)

- 研究会や公募の情報を出す際、一文(〇〇な方は〇〇にご連絡くださいのような文章)を必ず添える。
- ご本人から希望される旨お申し出があった場合には、スライドのファイルを事前に講演者から集めてご本人にお送りする。
- 指示語の多用は避け、できる限り言葉で説明を行っていただくよう発表者に依頼。

--- 研究集会の運営に関する項目ではないが重要性の高い検討事項 ---

障がいのある方を雇用しようとする場合の、雇用条件や業務内容に関する規定やその運用方法（例えば障がいが原因で一部の業務が担当できない場合における部署内での業務分担のあり方など）は、日本の大学においてはあまり整備されていないのが現状である。

今後整備を進めていく必要があると思われる。